

第三回我孫子北地区地域会議議事録

日時:平成30年1月21日(日) 13:15~17:00

会場:我孫子北近隣センター 多目的ホール

出席者:自治会・居住者の会・管理組合 19団体 (27名)

事務局メンバー:15名 (社協、高齢者なんでも相談室、民児協:6名含む)

我孫子市市民活動支援課長、主任

総計:44名

<司会・進行> 事務局委員 2名

(1)挨拶:

①事務局代表

第二回の地域会議を「防災」をテーマに9月に開催し、地域の協力が「防災」にはどれほど大事かを学習しました。北地区の地域会議では、地域の問題や課題を共有化するだけでなく、問題や課題を解決するまで行うことを目指しています。

住民同士が協力しあって問題・課題を解決していく活動は、問題・課題を具体的に把握し共有化することが出発点になります。

今回の会議では、問題・課題を具体的に把握し共有化する手法の一つとして多くのところで行われている「災害図上訓練」を体験してもらいます。

ここでの体験が各地区での継続的な取り組みへと繋がっていくことを期待します。

本日の出席者の中には、この3月で自治会役員を退任される方がいらっしゃると思いますが、「防災」への取り組みは継続テーマとなりますので、4月に就任される役員への引継ぎを確実に行って頂きますよう、切にお願いします。

②我孫子市市民活動支援課長

本日は、前回に引続き防災をテーマに、具体的な活動に繋がることを目指しての会議とのこと、その取り組みには市も大きな関心をもっています。

(2)「防災」力向上の具体的活動を始めるための一手法であるDIG(災害図上訓練)の実践体験

会議の前半では、「防災」力向上の具体的活動を始めるための一手法であるDIGについて実践体験を通して学んだ。

実践体験は、表1の4つのグループに分かれ、各グループの地域図に道路や地形の状況、防災上の施設や避難場所などを参加者全員で書き込むことから始めた。そして、それらの情報をもとに、大規模地震発生直後から時間経過とともに遭遇する様々な事象への現状の対応と備えについて確認を行った。

この確認作業では、現状での危険な点、不十分な点などを参加者全員で話し合うため、現状の問題・課題の共有化とリスクの認識レベルを合わせることができた。

(表1) 4つの地域グループの参加自治会等

グループ	参加自治会等
A	つくし野西/つくし野南/つくし野東/天子山
B	都/城下/並木/並木七丁目/並木九丁目/妻子原
C	我孫子中央/中台/あびこ/ロータリーパレス我孫子
D	シティア/エールの丘/新生/グランレジデンス居住者会/セントラルコート我孫子管理組合

【事務局 補記】

DIGの実践体験は、今回の訓練前には、「防災」力を向上していくのに有意義なのか、不安もありましたが、参加者から、この手法は、「防災」力向上の活動の出発点となる住民同士の問題・課題の認識レベルを合わせるのに有効だということがわかったとの感想を頂くことができ、よかったです。

(3) 4つの地域グループでの問題と課題の整理と今後の対応討論

会議の後半は、4つの地域グループで、災害図上訓練(DIG)で洗い出された問題・課題を、

「自助で対応するもの」、「共助で対応するもの」、「公助に対応をお願いするもの」に分類し、その対応についての討論を行った。

グループによっては、問題・課題の解決のために取組む対応策とその進め方まで討論が進んだところもあった。

グループ討論で出た主な問題・課題は、表2の通り。

今回のグループ討論で出た問題・課題を一つひとつ解消していくことが、減災に繋がるということ、参加した多くのメンバーが確認できたと思う。

(表2) グループ討論で出た主な問題・課題

分類	主な問題・課題
自助で対応するもの	<ul style="list-style-type: none"> ①家具類の転倒防止措置の徹底 ②ガラス割れ防止シートを貼る ③サンダルを寝室に置き安全を確保する ④ローリングストック(非常食の蓄え)のチェックをまめにする ⑤家族間での安否確認方法、連絡手段や避難場所・避難ルートの確認点検(家族間の話し合い) ⑥水の確保(風呂の水を抜かないことも対策の一つ) ⑦石油ストーブ・ランタン・(非常時用)トイレの準備等 ⑧消火器や重量物を持ち上げる工具(車のジャッキなど)などの準備と使用習熟 ⑨家屋の耐震補強
共助で対応するもの	<ul style="list-style-type: none"> ①防災意識を高めるにはどうしたらよいか(特に、自治会未加入家族への安否確認の対応) ②安否確認の契機や方法、役員等不在時の取り纏め者や救出ルールなどでの未整備部分の整備と定期訓練での習熟と点検の実施 ③避難行動要支援者の安否確認や避難支援のために平常時にしておくことの確認と訓練 ④防災道具などの備品の再点検・使い方の定期訓練の実施 ⑤要救助者が存在する可能性が高い家屋での立ち入り条件の事前確認(自治会内での周知徹底及び法的要件をクリアできる要件の確認等) ⑥避難所での時間経過に応じた運営体制と体制の作り方の定期訓練での習熟と点検の実施 ⑦マンション自主防災組織と戸建て自主防災組織間の相互協力体制の確立
公助に対応をお願いするもの	<ul style="list-style-type: none"> ①避難所(並木小)の鍵および施設の運用確認と住民への周知 現状の運用で不安な点は改善要望する ⇒現状運用で不安な点:並木小は液状化の恐れあり。さらに水害に弱い地震後に豪雨等の洪水時を想定したときの運用の確認が必要 ②広域避難所(電研)の避難場所と出入り口、電研の体制の確認と住民への周知 現状運用で不安な点は改善要望する ⇒電研のグラウンドを一次避難所とするときは、仮設テントと仮設ベッド等の宿泊設備が必要その準備状況の確認と不足時は要請をする ③避難行動要支援者避難所(並木北近隣センター)の運用確認と住民への周知 現状運用で不安な点は改善要望する ④被災時の水・食料の配布場所は原則、指定避難所だが、指定以外でも必要としている住人が集中するところ(例えばマンション住人の集会施設等)へは配布して欲しい

【事務局 補記】

我孫子北地区地域会議は、地域の問題・課題を共有して終わりではなく、共有した地域の問題・課題を一つずつ解決していくまでを活動の目標としています。

今後は、今回の会議で出た問題・課題を解決するための活動は、自治会等が中心となって推進することになりますが、活動が軌道に乗るまでは事務局も一緒にお手伝いしていきます。

さらに、問題・課題の解決にあたっては、これまでの会議に参加の団体の他に、学校や電研など同じ地域の他の団体の協力も必要になります。それらの団体への本取組みの説明、協力依頼は、自治会等と事務局が連携して実施していきます。

以上